

湘南カフェテリア

2026 年 6 月 29 日

発行：湘南エリア

問合せ：湘南センター

電話 0120-581-778

(月～金 10:00～17:00)

この紙面は、地域の組合員が作成しています。



平和への取り組み「千羽鶴に想いを込めて」

千羽鶴は、幸福祈願やお見舞いの際に作ることが多いですが、広島市への原子爆弾投下で被爆し、原爆症でお亡くなりになった佐々木禎子さんが自らの延命を祈って作ったことから、平和の象徴にもなっています。

今年度湘南エリアでは、企画参加者やエリアメンバー、担当職員、藤沢センター長・湘南センター長で折り鶴を千羽折って、来年には大船観音または広島に献納したいと思っています。



～広島での平和企画に参加された方の声～



広島のアちらこちらで奉納された沢山の折り鶴を見てきました。

平和を願いながら折られた折り鶴を見て、沢山の方々の平和への想いに胸が熱くなりました。

「平和への道はない。平和こそが道なのだ。」

1人1人の平和への想いを、未来に繋いでいきたいですね。

そして、1人1人の平和への想いを、未来に繋いでいけますように。

たくさんの折り鶴を見て、平和を願っている人がたくさんいることを知り、すごいなと思いました。(小5)

～お母さんからの補足～

願いや祈りは目に見えないものですが、折り鶴の姿を借りて可視化された、という意味合いです



千羽を目標に折り始めました！

この折り紙は、献納された千羽鶴を原料とした折り紙を使用しています



久しぶりに鶴を折りました。

紙が厚めなのか、細かいところがシュッとせず…まだまだ先は長いですが、心を込めて折っていきたいです。

趣旨に賛同してくれた母と折りました。折り鶴再生紙ならではの、どれ一つ同じではない、点在する他の色が良いな～と思いながら折りました。

少々慌ただしい日々の中、無心で折り鶴を折る時間は貴重でした…。

細かな作業では、例えば羽根の先、顔、尾など爪楊枝がほしい。折り進めっていると、平和になりますように…と願う。泣きそうになる。

小さい折り鶴を久しぶりに折ってみて、難しいと感じました。

子どもの方が上手に作っていました。

沖縄へ慰霊の旅をしてみたいけれど、すぐには行けませんので、折り鶴に平和と慰霊の思いを運んでもらいたいと思い、折りました。

小さめサイズなので意外と難しくてキレイに折ることができないことがありました。

再生紙であるのに、紙質はしっかりしている。何回折り直しても破れることがないので、細かいところまでこだわって折ることが出来る。

6月23日に ～千羽を目標に～「沖縄慰霊の日平和への想いを」を開催いたしました。企画の報告は、次回エリアニュースとエリアブログでご紹介いたします。

